

質問 平野（祐）議員（自民・各務原市）令和7年10月3日（金）

1 来年度を見据えた県政全般の方向性の発信について

答弁 知事

10の目標を配っていただきありがとうございます。

もし可能であれば皆さんもこの資料を横に置きながら、これから説明を聞いていただければと分かりやすいと思います。

県政の柱として掲げております目指すべき「10の目標」は、令和3年の岐阜県知事選挙以来4年間、県内全ての市町村を回る中で伺いました県民の皆様の思いやご意見を基に、私の30年以上にわたる行政経験も踏まえて、岐阜県にとって何を実現すべきかをまとめたものでございます。

県内各地を回る中で、山間地域においては急速に人口減少が進み、市街地においても空き店舗が増加し、県内唯一の百貨店が撤退するなど、何処へ行っても将来に対する不安と閉塞感が蔓延していることを実感いたしました。選挙の際に訴えてきたとおり、まさに「現状維持」は「衰退」を意味する、そういう言葉だと実感したところでございます。

こうした状況を打破し、「安心」と「ワクワク」に溢れ「人やモノが集まる岐阜県」、これを創るために、今、岐阜県として達成すべき社会的価値、これがこの目指すべき「10の目標」に集約されているものでございます。

その実現に向けまして県民参加型の政策立案を行い、この紙には入っておりませんが、実は一番下の政策オリンピックにはですね、「市町村と協力して」が入っていたんですけれども、市町村などと連携して実現する手法の一つとして「政策オリンピック」を実施することも選挙の中で訴えてきたところでございます。

したがって、目指すべき「10の目標」は、文字どおり岐阜県全体として目指すべき社会目標であり、これを実現するための個別具体的な政策ツールとして、「働いてもらい方改革」や「モーニングプロジェクト」という手法、更には「アグリパーク」や「バイオコークス」、そして今ご指摘のありました「新たな交通システム」としての「LRT」や「県有施設の利用」とか、「広報戦略」はあくまでツールなので、したがってこれの外数ではありません。この誤解がすごく多いです。なぜこの誤解が多いかというと、本来、これを実現するための予算のなかに議員がご指摘いただいたことが書かれているから全体として分かるんだろうということなんですけれども、これはご理解いただけたと思いますけれども、今回の当初予算編成におきましては、極めて短い時間しかなかったため、既に組まれていた従来予算を可能な限り目指すべき「10の目標」に再編するという作業が中心でありました。

したがって、まさに議員ご指摘のとおり、来年度の予算編成が本格的にこの目標を達成するための作業ということになってまいります。

このための作業方針としまして、これまでの答弁で述べてまいりましたとおり、「国費などの最大限の活用」、そして「効率的・効果的な事業に向けた施策の重点化」、更には「歳入確保策の強化・県有施設の利活用」という３つの方針に基づいて見直してまいります。

そして、この見直しに当たりましては、各部局の次長級職員で構成した部局横断的なプロジェクトチームを立ち上げるとともに、実際の事業実施に直接関わった職員の視点を踏まえて見直し案を提案できる職員提案制度を活用してまいります。

その上で、こうした作業によって抽出された施策群を体系的に整理することで、目指すべき「10の目標」を実現するための施策編、これがまさに議員がこういうのが欲しいと仰ったんだと思います。これをお示しできると思っております。その整理の仕方はいろいろあるかと思っておりますが、いまのところ、県政を「産業・経済」「安心・安全」「子育て・教育」「健康・福祉」「地域づくり」などの政策体系に分類して、個々の予算とどうつながっているか、そうしたことを示すことによって、県民の皆様に「未来の岐阜県はどう変わっていくのか」「暮らしはどう変わるのか」ということをイメージしていただけるよう準備してまいります。

担 当 課 総合政策課

電話番号 058-272-1816

メー ル c11122@pref.gifu.lg.jp